



よっほつうしん



天童市立長岡小学校
学校だより No.12
令和5年3月17日
校長 齊藤厚志

ご卒業おめでとうございます！ ～「カラフル（ミラクル）学年」へのメッセージ～

卒業式 式辞

温かくやわらかい日差しが、長岡小学校の体育館を優しく包み込んでいます。本日は、天童市教育委員会教育次長 武田文敏 様、本校PTA会長 矢萩美智様にご臨席を賜り、卒業式を挙行できますことに、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスに代わって、インフルエンザウイルスの感染が校内で急激に拡大している状況でしたが、今年度、本当に久しぶりに、なんとか全学年が参加して、旅立つ6年生を見送ることができます。しかし、残念ながら、そのインフルエンザにより欠席せざるを得ない6年生の児童もあり、その児童、保護者の気持ちを察し、校長として胸を痛めております。本日はZoomを通して参加してもらい、日を改めて卒業証書を本人に手渡したいと考えています。待っていてください。

さて、「カラフル学年」のみなさん、ご卒業おめでとうございます。名前の通り個性豊かな63名のみなさんと私が共に過ごしたのは、6年のうちのたった2年間だけでしたが、それでも、長く続くコロナ禍で、様々な困難が立ちはだかる中にも関わらず、明るく前向きに行動しようとするみなさんの姿が、私の脳裏に浮かんできます。

私にとって特に印象に残っているのが、児童会活動です。今年度、長岡小学校の学校教育目標を「みんなが力のつく楽しい学校」に変え、この目標を達成しようと、先生方だけでなく、ここにいる全員で取り組んできました。また、その目標を受けて、「なかまおもい」という児童会目標を設定し、この長岡小学校をさらに本当の意味で楽しい学校にしようと、6年生のみなさんを中心に自分たちで考え、自分たちで行動してきました。

あいさつについては、もっと明るくて元気なものにしたいという思いのもと、クラスごとにあいさつ運動を行ったり、あいさつの良い人にあいさつカードを渡したりして、長岡小学校のみんなの意識と行動をさらによくしていこうと、努力を続けてくれました。

自分、そして自分たちを見つめ、そこから課題を見つけ出し、どうすればいいのか、自分事として深く考え、仲間とともに、粘り強く、解決しようとする。このことは、私たちの予想を超えたことが次々と起こり得る「先の見えない時代」、今まで以上に様々な立場を越えてお互いを理解し合い協働しなければならない「多様化の時代」を生きていくみなさんにとって、大切な営みです。なかなか自分の思った通りにはいかないかもしれませんが、この繰り返しにより、今を、そして未来を幸せに生きていく力を、少しずつ着実に身につけていきましょう。

「一致団結～探しに行こう 新しい自分」というスローガンのもと、福島の会津・いわきを舞台にした修学旅行。この修学旅行は、私に大変貴重な経験を与えてくれました。その経験とは、修学旅行の全行程を、一人も欠けることなく全員で行えたということです。まだまだ新型コロナウイルスが猛威を振るい、学校でも感染者が拡大する中、全員が参加することができ、しかも、けがはありましたが、誰一人別行動することなく実施できたのです。そのようなことは、なかなかないことです。学校へ着くのが遅くなり、次の日になってしまった到着式で、私はみなさんのことを「ミラクル学年」「奇跡の学年」と讃えたのは、そのような意味からでした。「なんとか修学旅行に参加したい。なんとかみんなで行きたい。」という一人一人の思いが、奇跡を呼んだのだと思います。努力も当然大事ですが、このような強い思いが、運を引き寄せ、君たちの人生をより良い方向に導いてくれることもあるのです。これからも最後まであきらめず、強い思いで、何事も乗り越えてください。

そのようなカラフルでミラクルなみなさんに、卒業にあたり、一言言葉を贈りたいと思います。PTA会報にも載せましたが、吉野源三郎さんが書いた「君たちはどう生きるか」という本の中の一節です。「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている。だから、誤りを犯すこともある。しかし、…誤りから立ち直ることもできる。」……。君たちの人生は、様々な場面で、その都度自分自身でどうするか決めながら、生きていかなければなりません。一生懸命考えて行動しても、うまくいくこともあれば、失敗することもあります。そのようなことを繰り返し、成功と失敗から学び成長しながら、自分自身の人生を、自分自身の力で、創り上げていってください。応援しています。

さて、保護者のみなさん、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。小学校における6年間を振り返ると、子供の成長を喜ぶだけではなく、時には、どうしたらいいんだろうと悩み苦しむこともあったのではないのでしょうか。私にも2人の子供がいますが、そうでした。しかし、みなさんの温かく力強い支えのおかげで、子供たちは無事今日の日を迎えることができたのです。ここにいるみんなで、子供たちの巣立ちを心から祝福いたしましょう。

結びとなりますが、「カラフル学年」の63名が、中学校という新たな世界で、一人一人が、かけがえのない存在として輝きながら、自分の人生を幸せに生きていく力を、更に身につけられるようお願い、式辞といたします。

令和5年 3月17日

天童市立長岡小学校 校長 齊藤 厚志